

柏市防災事業の取組み

柏市防災マップについて

合併後の新たな防災マップを作成し、平成18年1月15日に各町会長等を通じて各世帯に配布しました。

また、在住外国人にも周知出来るよう、6ヶ国語（日本、英語、中国、韓国、スペイン、ポルトガル）の防災マップも作成しました。

配布のとおり。

災害時要援護者支援対策について

災害時要援護者支援対策については、平成17年度に柏市災害時要援護者支援検討協議会を3回開催し、災害時要援護者支援策にかかる基本方針や取り組みを進めるための課題について、協議を行ってまいりました。この検討は、消防庁の避難支援プラン作成のモデル地域の指定を受けております。災害時要援護者の支援を推進するため、去る6月1日に本支援事業の推進母体となる柏市防災福祉K - N e t を立ち上げました。

今後は、4箇所（豊四季台団地防災会、新栄町会防災部、西山町会防災会、大津ヶ丘第二住宅管理組合防災会）のモデル地区で災害時要援護者や支援者の登録、避難訓練などを実施することにより、この施策の標準的なマニュアル化を図ってまいります。

なお、災害時要援護者安全確保の対策や柏市防災福祉K - N e t については、広く市民に周知するとともに、ボランティア団体や介護等のサービス事業者などに呼び掛け、平常時からの見守りや支援の強化充実を図ってまいります。

平成18年度防災施設整備について

防災施設整備実績及び整備計画

整備項目	平成17年度 までの整備実績	平成18年度整備計画	備 考
1 防災行政 無線（固定 系）の整備	総計 160基	<p>災害時の市民への情報伝達・広報用として整備している。</p> <p>平成18年度から防衛庁の補助金導入が決定されたことにより5ヵ年（平成18年から平成22年度）計画で、親局1局、子局127局を更新する。</p> <p>当該年度は、親局1局、子局24局を整備する予定である。</p> <p>（工事請負費 150,336千円）</p>	平成17年度は、防衛庁の補助金を導入していくため、システム全体の改修計画及び老朽化調査及び補助要望等の協議を進めた。
2 耐震性（井戸付）貯水装置・簡易防災用井戸の設置	・耐震性（井戸付）貯水装置 20箇所		
	・簡易防災用井戸 15箇所		平成17年度は、風早北部小学校、高柳小学校に整備した。
3 防災備蓄倉庫の設置	合計 40箇所		平成17年度は、リフレッシュラザ柏に防災倉庫が整備された。